

ふたばこども園

園 便り 10月号

ふたばっ子

令和3年10月1日発行

文責 園長 納富博文



コスモス

※園日より「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

「天高く馬肥ゆる秋」

幸いに台風14号は大きな被害がなく通過しました。その後は、台風一過の晴天が続き、秋の気配がし始めました。また、新型コロナウイルスの流行も少し落ち着き始めました。

表題のことわざは『秋は空が澄みわたって高く晴れ、気候がよいので食欲も増進し、馬もよく肥える。秋がさわやかで、心身ともに心地よい季節である。』ことの形容です。子どもたちにはこの時期心身ともに大きく成長して欲しいと願っています。園では10月9日の運動会に向けて各学年で練習が始まりました。コロナ禍の運動会で、いろいろとお願いすることばかりですが、どうぞよろしくお願い致します。

おじいちゃん・おばあちゃん「今年もありがとう」

本庄町老人クラブ連合会様（会長：角田研三様）より7月末日にぞうきんのプレゼントがありました。毎年この時期に園を訪問され、贈呈していただいています。

本庄町にお住まいの老人クラブのおじいちゃんやおばあちゃんたちが、子どもたちの健やかな成長を願いながら、コロナにも負けないで、一針一針縫ってくださったそうです。

プレゼントして頂いたぞうきんで机や園舎をしっかりと磨き、机や園舎、そして優しい心もびかびかにしたいと思います。

毎年本当にありがとうございます。



ICTシステム「コドモン」の導入について

事務の効率化やペーパーレス化、保護者様の負担軽減等のためにICTシステム「コドモン」を導入することになりました。最初は、「連絡帳」および「欠席・遅刻等連絡」のシステムから導入して行きます。その後、順次「登園・降園システム」や「教育・保育システム」等を導入して行く計画です。なお、現在使用している「はなまる連絡帳」は廃止する予定です。

本日、別紙プリント（ICTシステム「コドモン」の試験導入について）を配布しています。そのプリントに従い、まずは10月中にコドモンのアプリ登録をお願いします。

試験運用は11月から予定しています。ご不明なことがあれば園の方まで（坂本）お尋ねください。どうぞよろしくお願い致します。

自然災害とその対策・対応について

地球温暖化のせいでしょうか？ それとも自然破壊への警鐘でしょうか？ ここ数年、「これまでに経験のない」ということばが常態化する災害が起こるようになりました。

今年の夏も、全国各地で未曾有の大雨が降り、被害に遭われた方がたくさんありました。佐賀県でも、8月の豪雨は2年前よりも災害が大きくなりました。また、台風14号は観測史上初めて福岡県に上陸し、佐賀県でも警戒され、県下の学校、幼児保育施設が休園となりました。

佐賀市ではこうした自然災害等の状況を考慮し、「佐賀市内の保育施設における避難情報発令時の対応ガイドライン（配布済）」を策定し、子どもたちの命や安全を守るようにしています。

それによると、園の所在する小学校区内で警戒レベル3（高齢者等避難）が発令された場合は、休園措置をとるようになっていきます。また、今回の台風の来襲のように、事前に対応が必要な場合は、子どもの安全や命を守ることを最優先に、一斉に休園等の指示が出る場合もあります。

これから、台風や地震、大雪など、これまでに経験のない災害がある可能性は「0」ではありません。こうした時に市のガイドラインや指示に従って、子どもたちの命と安全を守りたいと思います。

また、「お迎え」の訓練を行い、災害時や緊急時の速やかな対応ができるようにしたいと思います。どうぞご理解とご協力をお願いします。

気を緩めないで！新型コロナ対策

佐賀県でも、9月中旬頃より、10人前後の陽性者数で推移するようになりました。100人を超える陽性者数があり、10代未満や10代、20代などの若い年齢層にも流行した、第5波の流行が終わりに近づいたかなと、少し安心しているところです。昨年度の「園だより10月号」でも、今年と同じように流行が落ち着いてきたと書いていました。なのに第5波が来ました。

専門家の中には、第6波は必ずやってくると警鐘を鳴らしています。もし、第6波があるとする、コロナ株の変異を考えると、第5波よりひどくなるかもしれないと心配するところです。

まだ、コロナは終息していません。ここで気を抜かないで、「3密」の回避、手指消毒の励行、マスクの着用など、基本的な対策をしっかりとっていきたいと思います。どうぞ保護者の皆様もご協力、ご理解をよろしくお願い致します。